

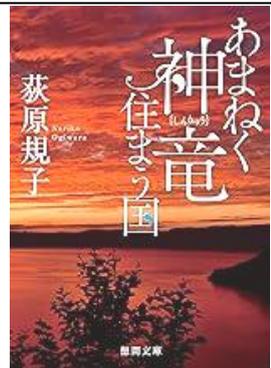
辰年だから龍、ドラゴンの本の紹介

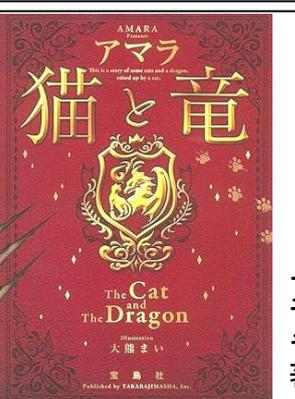
辰・龍・竜の違いは…

「辰」は「十二支のひとつ」、「龍」は「想像上の動物」、「竜」は「龍を簡単にした字」。

「辰」は草木の状態が整っているという意味を表したそうです。「龍」はいわゆるドラゴン、想像上の動物です。空を飛んで、雨を降らしたり、稲妻を放つなど…色々な物語にえがかれていますね。

 <p>「ジェレミーと灰色のドラゴン」 A・Z・ポータンブルグ著</p>	 <p>「ドラゴン・キーパー」 K・ウィルキンソン著</p>	 <p>「タツノオトシゴ図鑑」 サラ・ローリー著</p>
---	---	---

 <p>「あまねく神竜住まう国」 萩原規子著</p>	 <p>「ゲド戦記1〜6」 ル・グウィン著</p>	 <p>「ドラゴンの塔 上・下」 ナオミ・ノヴェイク著</p>
--	---	---

 <p>「デルトラクエスト 竜の巢」 エミリー・ロッダ著</p>	 <p>「猫と竜 1〜3」 アマラ著</p>	 <p>「竜が呼んだ娘 やみ倉の竜」 柏葉幸子著</p>
---	---	---

 <p>「ドラゴンファイア②」 乙一著</p>	 <p>「十二支のひみつ」 大高成元 他著</p>	 <p>「最後のドラゴン」 G・ワイヤー著</p>
--	--	--

